

開催日時	平成 27 年 10 月 30 日（水） 18：00～19：30
開催場所	コア大空
参加人数	6 人
出席議員	畑中優周 副議長 伊東尚悟 議員（議会広報特別委員、都心部市街地整備特別委員：司会） 山口光信 議員（議会運営委員、総務文教常任委員長） 松永俊雄 議員（経済建設常任委員） 秋田慎一 議員（民生福祉常任委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員）
質疑応答の内容	<p>問：台風で町内会の街灯が壊れ、修理したところ結構な金額がかかった。修理代に補助はないのか。</p> <p>松永（俊）：電気代に補助はあるが、修理についての補助はない。街灯の設置もお金がかかるので、設置についても補助が欲しいとの声が寄せられているが、今のところはそうっていない。議会としてこれから努力したい。</p> <p>問：白樺地区のB団地を解体しているが、C団地の解体はいつになるか。人がいなくて気持ち悪いと聞いている。</p> <p>松永（俊）：当初より遅れているが建て替え事業は進んでいる。国の補助金の関係等もあり、むやみに壊すことができない。できるだけ皆さんの意見に沿うような形で、古いものは早く除却できるようにしたい。市としても空き家対策が進められているので、良い方向で進んでいくよう議会としても努力していきたいと思う。</p> <p>問：普段散歩していると道路が暗く感じ、水銀灯を見てみると節約のために消灯しているとある。本当にそうした理由で消灯しているのか。道路を照らす街路灯が切れているのもある。</p> <p>松永（俊）：切れているところと、間引きしているところがあり、お話の場所は間引きしているところなのだろう。間引きは 10 年以上も前から実施していて、議会でも、経費のこともあるが、</p>

そこまでやるのかと議論した経過がある。

問：そもそも街灯は、治安上設置しているのであり、消してあるのは、税金の使い方として公平と言えるのか。昔は切れているところを連絡すると、ありがとうと言ってすぐに直してくれていた。

畑中：交差点やカーブ、通学路など、町内会がどうしても必要だと連絡すると臨機応変に対処してもらえる。町内会から要望をするといい。

問：市立病院の説明は内容が分からない。大幅な改築をしないで済むことにはならないのか。その辺の議会議論を説明してほしい。

秋田：市立病院については、昨年度までは改築ということで話を進めてきたが、国の医療体制が変わり、診療報酬で賄う前提で今後を考えた時に、一部手直しでもいいのかということがある。

不採算部門も抱えており、借金返済のために一般会計からの繰り入れはできないという中で、しっかり計画して増改築しなくてはならず、市民に負担が増えない病院経営を考えている。

道東の中核病院としての機能をしっかり持たせた病院にするということで、少し急いでいるとの声もあるが、議会としても議論を重ね計画を承認してきた。

問：2040年には人口が13万人になるとのことだが、どうしてそうなるのか。その辺の議論はどうだったのか。

山口：地域創生総合戦略の人口ビジョンでは、試算上11万人となる人口予測を、13万人で止めるための案とした。9月議会では目標数値ははっきりしておらず、自分たちも新聞報道で知ったところだ。

地域創生総合戦略については、11月17日から委員会を開催して集中して議論するので、良い計画に仕上がって、人口減少に歯止めをかけたいと思う。

<p>議会への 意見・要望</p>	<p>問：このように意見交換会をやってもらうのは結構だが、言ってもどうにもならない。議員の努力が足りないようだ。その姿勢がこの報告会をただ開いて終わるものにしていないのではないか。もう少し苦情を持った人に参加してもらうよう対策をとらないとダメだ。次の報告会にはその辺を考えて欲しい。</p> <p>畑中：議員にしっかりやれとの声だが、貴重な声として受け止めたい。もっと広報していくので、次回も協力してもらいたい。</p> <hr/> <p>問：今日のような報告会はありがたいが、内容は広報くしろや議会だよりを見ると分かることだ。中身の説明は雑ぱくで、わからないし、資料もない。</p> <p>伊東：分かりやすさを考え説明させてもらった。貴重な意見として受け止めたい。次回に向けての改善事項として検討したい。</p> <hr/> <p>問：先の台風の時に、政党の看板が飛んで風に舞っていた。行政は、政党の看板の設置者は誰で、何本立っているかなどを把握しているか。把握していないのであれば、飛んでしまったという事実さえもわからないのか。</p> <p>秋田：議会というより、それぞれの政党で把握しているものと認識している。</p> <p>実際には、壊れた看板は道路管理者から政党に連絡が行く手順になっている。相当数壊れたことも認識しているし、次の風でまた飛ぶことのないよう対応しているところである。</p> <p>問：政党の看板については、市民からの報告ではなくて、自らが設置してある物の安全確認をするべきでないか。</p> <p>秋田：今日出席している各議員において、対応をそれぞれお願いしたい。</p>
<p>市への 意見・要望</p>	<p>問：地域でエゾシカが増えてきており、落ちていた雄ジカの角でパンクしたという話も聞く。あまり増えると人にけがをさせるようなことも起きるのではないか。駆除しなくてはいけないと思うが、良い対策を考えてほしい。</p>

秋田：鹿の駆除は、住宅街では法的に難しく、市民生活に影響が出るのは困るので、担当部署である環境保全課にしっかり伝えたい。

松永(俊)：春採や星が浦には鹿がたくさんいるのは承知しており、個人的には鹿や熊は適切な個体管理が必要と思う。動物愛護についていろいろ意見もあるので難しいが、市民生活の安全や衛生面で何らかの対策は考えていかねばならない。

問：火力発電所のことで事業者からこの会場で報告があり、公害や交通量に関する質問があったが、報告だけで中身については、当事者も答えられないような状況だった。このような状況を市議会としてはどう思っているか。

秋田：自分も参加しており、同じ思いだ。次の特別委員会の中で担当部局に申し入れるよう伝えたい。

問：桜が丘中学校の裏の方に階段があり、学校周辺は除雪されているが、その階段は除雪されておらず、市に何回か質問したところ、桜が丘中学校の要請でできたもので、同校の管理になるとのことである。その後去年は除雪されていたので良かったが、市ではなく地域住民が必要を感じやったということだった。その他、白樺や緑ヶ岡などにも同様の階段はあると聞いており、下はコンクリートなどであり、滑って転ぶと大変だ。

松永(俊)：除雪体制は市内をブロックに分けている。お話の場所は地域住民の利便性のために階段をつけた、ということだと思うが、そうした私道などに対する除雪体制がどうなっているか、具体的に相談してみたい。

また、市道でないため対策をとらなかったことも考えられ、地域の方と相談しながら具体的な対策を考えることが良いと思う。具体的な場所を後ほど教えてほしい。

問：ロードヒーティングでも間引きしているが、間引きの仕方が中途半端で、アイスパーンができ危険である。ひぶな坂がそう

で、どんな基準で間引いているのか。

また、市道の中央線が消えている。道路管理課に電話しても対応されていない。危険な所は早めに対応してもらいたい。

松永(俊)：ロードヒーティングの路線数や休止箇所数などはわからないが、9月議会でも個別の路線についてロードヒーティングにしてほしいという意見があった。市は勾配や交通量を基準として設置したが、休止しているところが半分以上ある。ただ今のご意見を踏まえ対策を求めていきたい。

ひぶな坂については、同じ認識をもち、市に改善を要請している。ひぶな坂や工業高校の横の道路など改善が図られるよう、もう一度努めたい。

問：下水道のことで聞きたい。桜ヶ岡の新生という町内会だが、昭和50年代、1軒あたり8万円出して基準を満たし下水を整備した。その後、準市道になった道路は市に移管されたが、それ以外については私道になった。下水道のある私道に面した場所に住宅の建築を申し出た時に、建築課では大丈夫だと言われたが、道路課では壊れたら自分たちで直さなくてはならないと言われた。

建築課では全て市に移管になっていると思っていたとのことだが、道路課の方では違うという。また、新築の相談で市役所に行っても建築課と道路課では連携が取れていないので、どこにいても話がわかるようにしてほしい。責任をもって応えてくれる組織が必要と思う。

畑中：窓口一元化は進んでいるが、建築申請時の対応については上下水道部が南大通にあり、道路の方は建築と見解が一緒になっていないと今の話を聞いて思った。建築申請の時には正確な情報を得られるような形をとれるよう市に伝えていきたいと思う。

松永(俊)：下水道については、早くに整備した地域と、遅れた地域があり、また民間で開発したところは民間の下水が入っている。桜ヶ岡の新生町内会は早く開発されたところと認識してい

	<p>るが、全体の財産区分も含めて調査した上で、対策も進めてみたい。</p>
	<p>意見：社会福祉協議会に携わっているが、市に相談しても私のところは関係ありませんと次から次へと回される。機構改革の時に改めてほしい。</p>
	<p>問：台風で、千代ノ浦の岸壁が散歩できる状況でなくなったが、いつ直るのか。</p> <p>畑中：千代ノ浦の岸壁は、管理は釧路市で行っているが作ったのは北海道である。補修に関する北海道からの報告をまだ聞いておらず、査定など時間がかかっているものと思うが、そのままということはない。</p> <p>問：千代ノ浦岸壁には障がいを持った子どもたちが遊びに来ていたが、遊べない状況だ。</p> <p>畑中：被害状況はもらっているが、道の対処の方法を次の議会で確認する。</p>
	<p>問：民間事業者が設置したクルクルよく回る看板がある。中でも背の低いものは子どもが手を入れると怪我をする恐れがあり、そうすると単に設置者だけの責任でなくなるのではないか。</p> <p>秋田：公共用地であれば行政も指導できるが、民地であればそれもできない。できるだけ対応をとるよう担当者へ伝えたい。</p>